

廃校施設の活用状況

(平成19年10月1日)

施設の名称	稲穂ふれあい研修センター	市町村名	奥尻町
<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none">・用途：展示室及び研修室・活用開始年月日：平成15年4月1日・廃校年月日：平成15年3月31日・旧学校名：稲穂小学校 <p>建物</p> <ul style="list-style-type: none">・構造：木造平屋建・建築面積：585㎡・延床面積：585㎡ <p>運営主体</p> <ul style="list-style-type: none">・名称：奥尻町教育委員会・形態：地方公共団体			<p>運営状況</p> <ul style="list-style-type: none">・主な利用者：町民、町内小学生・利用者数：200人/年
<p>事業内容・活動状況等</p> <ol style="list-style-type: none">1 町内小学校の宿泊研修の場としてや夏休み期間中のクラスキャンプに利用されています。2 町内の埋蔵文化財や民俗資料の展示会場として利用しています。3 『ふるさと奥尻塾』の取り組み 島の自然・歴史・文化を知り、学びあうことでふるさとの良さを再認識しよう。こうした相互学習活動として、平成17年度から『ふるさと奥尻塾』を開設しました。『塾』は特定の先生や生徒、そして組織というものはなく、町民全員が先生となり生徒となる『塾』で、その活動の中心となる施設が「稲穂ふれあい研修センター」です。 ここでは、町民から持ち寄った民具・生活用具や埋蔵文化財を中心に展示し『歴史探訪～先人の知恵に学ぶ』という展示会を開催しました。そして、展示会を見に来た年配の方から民具にまつわる生活情報、様々な地域の昔の話、民俗伝承者の情報を得る事が出来ました。さらには、こうした見学者の中から、「うちの倉庫に古い道具が眠っている」という情報を得、道具の寄贈を受けるなど様々な「資料収集の場」としても機能します。得られた道具や情報は、直ちに新たな展示に役立て、新たな入館者の開拓につなげます。同時に、埋蔵文化財の展示では、学芸員が分かりやすく説明するので、この展示会を開きながら、島について互いに学び合うということになるのです。この『塾』の活動の結果が、町民を巻き込んだ「手作り博物館の創設」につながりました。今後も、稲穂ふれあい研修センターを舞台にさらなる『ふるさと奥尻塾』の活動を展開していきます。			
<p>場所・連絡先</p> <ul style="list-style-type: none">・住所：奥尻郡奥尻町字奥尻314番地先・アクセス：奥尻フェリーターミナルから徒歩5分・Tel / Fax：01397-2-3890 / 01397-2-3891			